

保護者様

倉敷市立倉敷南小学校
校長 三木 宏之

地震発生時の対応について（お知らせとお願い）

夏至の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、地震発生時には、次のように児童の安全を確保しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
学校からの緊急連絡は、倉敷教育ネット情報発信システム（eこねっと）のメールでお知らせします。eこねっとに登録をされていない方は、ぜひ登録をお願いします。または、登録をされている方から連絡がまわるように、お知り合いの保護者にご依頼ください。

記

1 児童が学校にいて地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

保護者が引き取りに来るまで学校に待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

※ ただし、被害状況によっては、引渡し場所が「教室」でない場合があります。変更した場合は、玄関及び昇降口に掲示しますので、ご確認ください。

※ また、津波の到達が予想される場合は、迎えよりもまず自分の身の安全を最優先してください。

「震度4以下のとき」

校内及び通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、教職員付き添いの集団下校をしたり、いつもより早めに下校したりする場合があります。

2 児童が在宅中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。（学校からの安否確認があります。）自宅において余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。

「震度4以下のとき」

自宅周辺及び通学路の安全を確認したのち、原則として登校します。

3 児童が登下校中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

- (1) 安全を確保する行動をとり、揺れがおさまったら周囲の安全を確認させます。
- (2) 自宅、学校の近い方に避難させます。（自宅に人がいない児童は、学校へ向かう。）
- (3) 自宅に戻った児童は自宅待機とします。（学校からの在宅・安否確認があります。）
- (4) 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が引き取りに来るまで学校に待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

「震度4以下のとき」

安全を確保する行動をとり、揺れがおさまったら周囲の安全を確認し、登校・下校をします。校内及び地域・通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、教職員付き添いの集団下校をしたり、いつもより早めに下校したりする場合があります。

◎ ゆれを感じたら、ブロック塀や高い建物、川岸からすぐに離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめる、机等の下に避難する。

※ 自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難する、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※ 災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話での問い合わせはお控えください。

○ この文書は、本校ホームページにも掲載しています。